

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)		スーパー（副店長）	来客数の動き	・大きな額ではないが、何年ぶりかで決算ボーナスが出ている。また、転職者がここ数年で一番多く、景気が上向いていると感じている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	来客数の動き	・今月は非常に来客数が多く、新聞に広告掲載した当日は、特にいろいろな客が来ていた。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夏のような暑い日があったかと思うと、非常に寒くなったりと、気温差が大きかったというのが、やや苦戦した原因である。本来、5月くらいから非常に暖かくなって、清涼飲料水等、コンビニで売れるアイテムが好調になるはずだが、今一つ、何か乗り切れなかったのは、気温差の関係である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ようやく夏物が売れ始めている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・輸送の遅れで滞っていた納車も正常な状態に回復し、新車受注も上向いてきている。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・春の観光シーズンを迎えて、ゴールデンウィークを含めた客の入込はおおむね好調である。国内客の伸びはないが、インバウンド客が増えている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今春は、例年よりも早く暖かくなったためか、客の動きはやや良くなっている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前月に引き続き、宿泊予約は順調に入ってきている。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・ゴールデンウィークの天候がやや良かったことに加え、客はシニア層が多いため、健康応援キャンペーンを実施し、客単価アップを図っている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・当店が扱う商品は学校指定が多いので、必要な物は買っていく。ただし、一般客はどうしても大型店へ流れてしまうので、小売店は大変な時代である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・家電製品は目新しい物や購入意欲を起こさせる物がなく、買換え需要のみである。季節商材の動きも今一つで、厳しい状況にある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の積極的な購買意欲が感じられない。必要な物以外の動きが悪い。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数が減速しており、ゴールデンウィーク、母の日も低調である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・極端に何かが変わったということもなく、現状維持である。暑くなってくるので、来客数は増えてくる。外販を増やしたい。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・継続して来客数が減少傾向である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、前年とほぼ同じ状況である。車両販売は、客の積極的な買換え傾向は見られず、低迷している。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・ゴールデンウィークで売上は伸びたが、反動で現在まで、通常月と比べて微増にとどまっている。同業他社も良くない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・非常に動きの少ないゴールデンウィークである。予約状況は悪くなかったものの、例年に比べ、フリー客の利用が非常に少なかった。ゴールデンウィーク後に利用客が増加することもなく、ここ数か月と似たような低調な推移で終了している。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・状況は大きく変わらないが、海外旅行は若干の増加がみられる。国内団体旅行はおおむね前年と変わらないが、海外個人旅行の動きが鈍く、特に、ゴールデンウィークは減少気味である。募集旅行関係は増加傾向である。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・大リーグでの日本人選手の活躍などもあるが、客の反応も少なく、相変わらず、テレビは低調である。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・周年記念イベントの開催など、集客対策を実施したが、ゴールデンウィーク期間の悪天候予報の影響もあり、3か月前と比べて、来客数の動きは大きく変わっていない。	
	美容室（経営者）	それ以外	・美容院の設備投資に対する融資は、ここ2か月くらい、数えるくらい少ない件数の相談しかない。例年この時期は申告もあり、相談件数が増えてくるが、消費税の再増税もあり、今後の売上の見込みが分からないので、設備投資はしないようである。	

	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・物件が重なり、下請に出す量が増えている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの街なかの人出も、全くないといつか、かえっていつも以上に少ない。ふだん売れる定番品の売行きもさっぱりである。日常生活用品にも変化があるのだろうか。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは期待はずれで、特に、後半が崩れてしまった。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・販促チラシの回数が増え、価格も破格の物が増えている。業界全体の低価格志向は止まらない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候の影響もあるが、来客数が減っている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・いまだ競合他店の影響が残り、来客数が減っているので、厳しい状況である。
	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・様々な物が値上げ傾向にあり、財布のひもは固くなっている。チラシの効果も限定的である。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年は、ゴールデンウィークの県外客の入込が、特に悪い。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会もフリーの客も、どちらも低調である。街歩きをしている人も多くなく、全体的に元気がない。良いニュースがないからだろうか。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・4～5月の歓送迎会実績が、前年比40%落ちている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今、非常に悪い状態である。県北地域だが、当地域も市内も悪い。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・いよいよゴルフ場にも高齢化の波が押し寄せて来ている。多くの客がリタイア、若しくはプレー回数が減少してきている。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・前年同期と比べて、明らかに公共物件数が少なくなっている。
	x	スナック（経営者）	お客様の様子 ・客の様子と選択したが、競争相手の様子からも、本当に低迷している。良い方法があったら、教えて欲しい。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-	-
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前よりは新規案件も多くなってきている。ただし、部品の確保に苦慮している。
	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・地域にかかわらず、商品そのものの動きが鈍くなっている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注はやや増えているものの、数量が少なく苦勞している。
	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・関西で開催した国際宝飾展は、真珠製品と低価格品が中心だったが、予定どおり、中国からのバイヤーで売上が好調である。その一方、ホテルで行ったユーザー向けの大きなイベントでは、来場客、売上共に、前年を下回っている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間工事、特に、住宅リフォーム工事が多い。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業を中心に受注は高水準を維持し、非製造業も製造業に関連する設備投資は、安定した受注がある。ただし、小売などは、物価上昇等の影響もあり個人消費の力強さに欠けている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・富士山周辺の観光業関連は、インバウンドの増加に伴い景気は高水準で維持している。自動車、通信、デバイス関連の製造業は安定的な受注を確保しているが、家電部品等製造業は単価が下落し、織物業も受注に波があり、2極化している。
	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比91.7%である。ホームセンターでは寒暖の差が激しく、一時、園芸関連の売上が伸び悩んだとのことである。
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークの人出は期待はずれで、数量、売上共に、予想を下回っている。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は依然として上向かず、原材料の値上げ要求ものまざるを得ない状況である。
	x	*	*
雇用 関連	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・有効求人倍率が高い数値を維持している。
	-	-	-

(甲信越)	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・依然として求職者は多い。正社員を希望する人や、採用者も含めての話だが、求人票と実際の職場の内容が違うケースが多く、相談に来社する人数は変わらない。	
	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・周辺の商店、飲食店、サービス業では客の需要はあるものの、人手不足のために、売上を伸ばすことができず、現状維持にとどまっている。	
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人は、前年比で2.1%増加である。要因は、人手不足による製造業、サービス業の受注拡大で、更新時期のずれから増加となった業種もあるが、全体の増加幅は減少している。また、新規求職は前年比で1.7%の減少である。	
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数が3か月前と比べて減少しており、有効求人倍率も低下している。	
	x	-	-	-